

# チベット未踏峰 神大が再挑戦へ



神戸大山岳会が挑むカンリガルポ山群の未踏峰。07年11月、中国・チベット自治区、同会提供



## 氷河広がる「未開の地」

カンリガルポ山群に関する著書がある松本征夫・山口大名誉教授の話。カンリガルポ山群はふもとから巨大な氷河が広がり、クレバスも至る所にある。ほとんどが「未開の地」で、名前すらついてない。極めて難しいアタックになると思うが、成功すれば世界的評価を受けるだろう。

神戸大山岳会が今秋、中国チベット自治区にある「カンリガルポ山群」の未踏峰に再び挑む。08年に山群の最高峰を目指したものの、悪天候などで断念。2年前から新たなメンバーによる登頂計画を練ってきた。今回も地形やルートに関する情報は少ないが、「神大スピリットで必ず成し遂げる」と意気込む。

ヤ山脈の東に、6千級級の山が約280峰にわたり30以上連なる。インドやミャンマー(ビルマ)との国境付近のため中国側の登山許可が下りにくく、すべてが未踏峰とされる。山岳会は03年10月、チベットの中心都市ラサの東約500峰にある山群最高峰ルオニイ(推定標高6884峰)に挑戦したが、吹雪が続くなどしてあきらめた。07年秋の偵

察では、ルオニイ近くの推定標高6708峰の山に着目。山頂までのルートが比較的把握しやすいことがわかり、現役部員やOBら10〜60代の6人で再挑戦することにした。中国地質大の8人も同行するため中国側の許可が出た。10月初旬に離日し、ラサから車などで標高4350峰付近へ。そこから3人1組のパ

ーティーで氷河やクレバス(割れ目)を突破するルートを作り、6140峰付近に最終キャンプを造営。気候条件が良ければ11月初旬に頂上にアタックする。登頂メンバーの一人で、2年前の派遣隊員でもある神戸大大学院2年の近藤昂一郎さん(29)は「山の周囲は真っ白で音がなく、人を寄せ付けない閉ざされた世界。緊張している」と話している。

(鮎沢尚)

カンリガルポはチベット語で「白い雪山」の意。ヒマラ